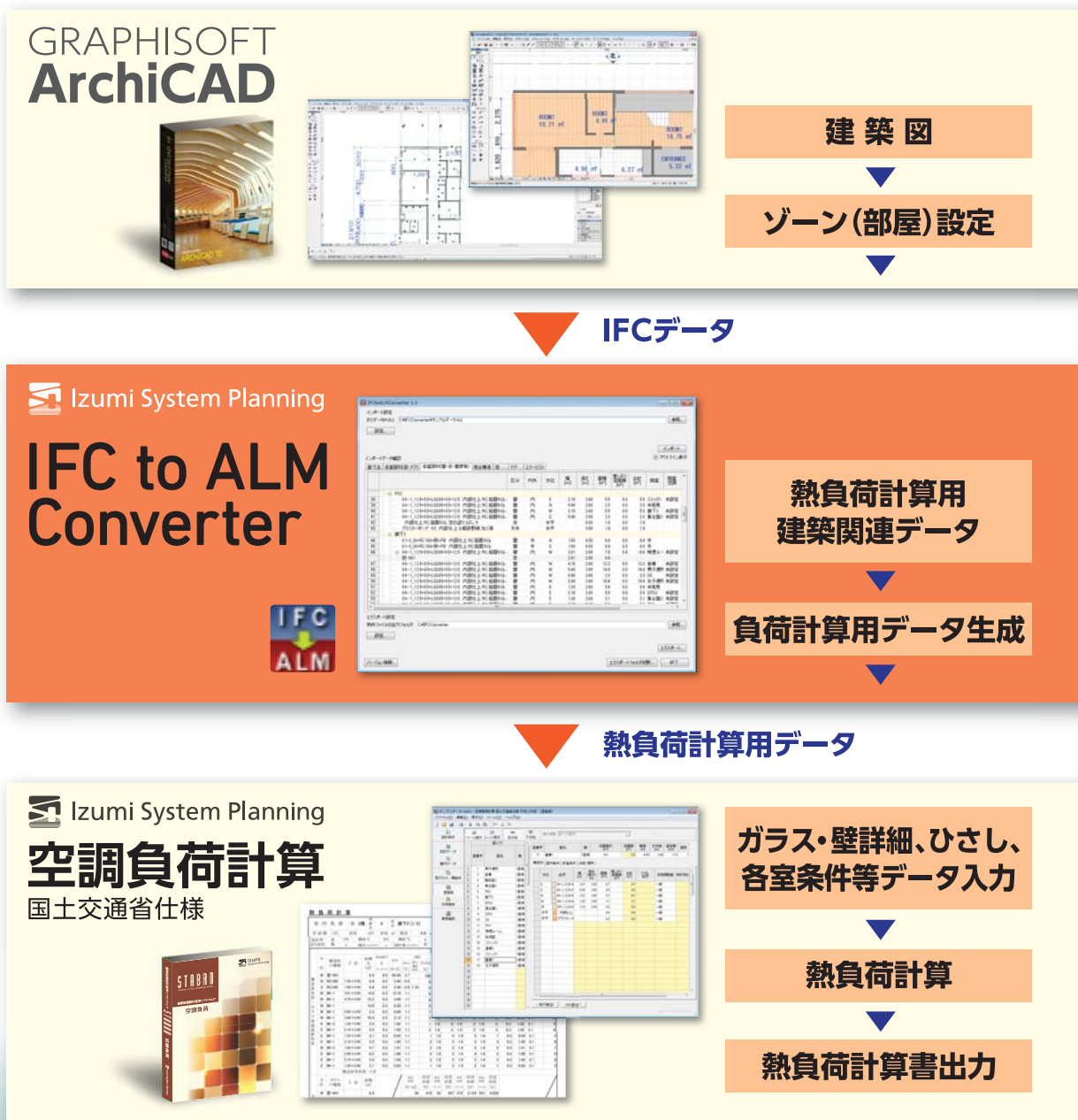


IFC to ALM Converter

ArchiCADと空調負荷計算の IFCデータ連携を実現

ArchiCADで出力したIFCデータ(2x3)から空調負荷計算の面積等の計算および計算条件の抽出を行い、
BIMと空調負荷計算とのデータ連携を実現します。

■ BIMと連携した熱負荷計算システムフロー



■ ALM Converterの特長

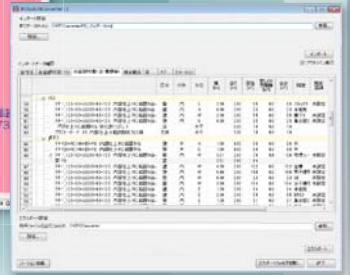
単純化した面積計算

IFCデータ内の詳細な値は使用せずに、ALM Converter内でモデルを単純化し、空調負荷計算に必要な面積・寸法を計算して使用します。

(項目) 外壁・内壁面積、窓面積、床面積



ArchiCAD

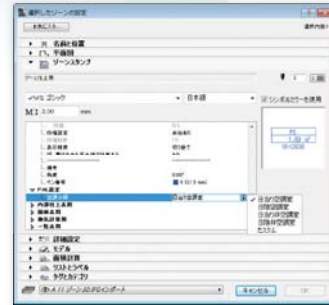


ALMConverter

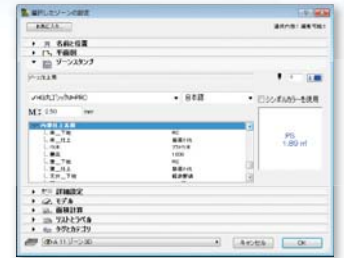
計算条件の抽出

IFCデータの中身を精査し、必要な情報を取り出します。同一階・上下階の隣室の空調状況を解析し計算条件の抽出なども行います。

(項目) 壁体の方位、部位名称、外壁・間仕切りの識別

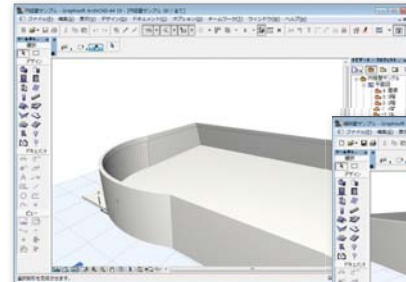


ArchiCAD

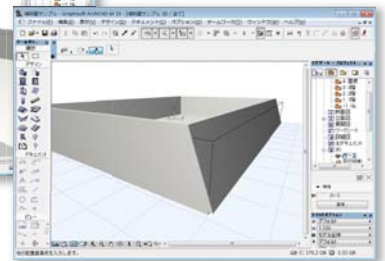


さまざまな形状に対応

円弧状の壁(真円)や傾斜した壁についても、自動的に方位を分割・傾きを補正して面積を計算します。

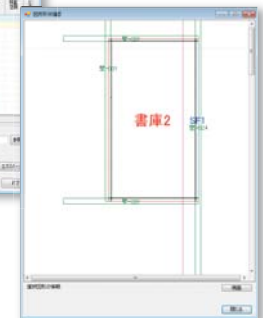
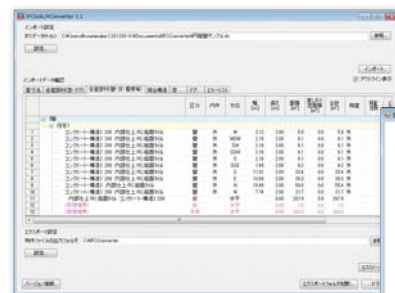


ArchiCAD



■ その他の機能

- ALM Converter上で抽出内容、算出結果の確認ができます。
- 簡易オブジェクトビューアで、抽出した結果がどのオブジェクトかを視覚的に確認できます。
- 作業の効率化を考えて、気象地区、ひさし、窓・壁の構成材料、各室条件等は熱負荷計算プログラム側で設定します。



■ カスタマイズに対応します

- ユーザーのBIM形状データに合わせた面積拾いに対応が可能です。
- 気象地区や窓・壁の構成材料の諸係数、室の内部発熱情報等については、ユーザーの社内標準にあわせたデータ出力内容にカスタマイズすることが可能です。

お問い合わせ

システム企画部

TEL : 03-3868-3126 E-mail : info01@izumi-system.co.jp
詳しい情報は → <http://izumi-soft.jp>